

旧白川中学校利活用について

大内 卓也



〔質問〕旧白川中学校の利活用事業者が決定した経緯を伺う。

〔答弁〕〔教育長〕文部科学省「『未来につなぐ』『みんなの廃校』プロジェクト」に活用用途を募集。地球共創学園設立準備委員会代表から、

旧白川中学校の利活用に係る事業計画書の提出があった。選考委員会では審査を行い、設立準備委員会を旧白川中学校の利活用を行う事業所とし、事業者として選定した。

〔質問〕本市として、事業者に期待するとは。

〔答弁〕〔市長〕地方都市は、若年人口の減少が深

刻な課題。ぜひ本市に住んでもらい起業されたり、本市企業に就職をしてもらい、定住していただくことを期待する。農業、林業、産業、観光、福祉など、さまざまな分野で、市も積極的に連携して、共に新しい価値を創造していくことも期待している。

〔質問〕教育委員会として、事業者に期待することは。

〔答弁〕〔教育長〕市内の小中学校、幼稚園、保育園などとさまざまな形で交流、連携を図ってきたいと提案をもらっている。設立準備委員会と協議していきたい。

〔質問〕どのような支援を検討しているか。

〔答弁〕〔市長〕設立準備委員会の要望等も伺い、支援策についても検討していく。

〔質問〕生徒たちが、本市に移住してくれるための施策案はあるか。

〔答弁〕〔市長〕学生のニーズを把握した上で実効性の高い施策を打ち出したい。

〔質問〕旧白川中学校の建て替えは行うのか。

〔答弁〕〔教育長〕現在の校舎を改修して活用したいとの提案をもらっている。

〔質問〕施設整備に対して支援を行うのか。

〔答弁〕〔市長〕市に対する支援要望等があれば、具体的に検討していく。

〔質問〕本市プロモーション活動も兼ねることはできるか。

〔答弁〕〔市長〕準備委員会と連携し、必要な支援を検討するとともに、シティプロモーションの好機と捉え、積極的に推進していく。

〔その他の質問〕

◎〔仮称〕道の駅しろいしについて

不登校の取り組みについて

佐久間 順子



〔質問〕自立のための支援の取り組みについて伺う。

〔答弁〕〔教育部長〕白石さばう学園では、子どもたちの気持ちに寄り添い、受け入れ、じっくりと話を聞くこと、また、話をしたくない時には無理に話さなくてよいという姿勢で支援を行なっている。まず、大人が子どもたちを受け入れ、

そのことが、児童生徒自身が自分を受け入れることにつながるものと考えて支援している。

また、白石さばう学園では、児童・生徒の希望や考えを大切にしながら教育活動を行なってお

り、学校行事も児童・生徒の考えを生かして実践することで、自ら行動することやその取り組みについて認め、自信が持てるよう指導しているところである。

〔質問〕社会に出るための心の育みについて伺う。

〔答弁〕〔教育部長〕これまでの学校教育で行われてきた心の教育を、充実に発展させていくことが大切であると考えている。授業やさまざまな体験活動を通して、多様な存在を受け入れる柔軟性や協調性、激しい変化を恐れない前向きさを、どんな時も常に心の安定が保てることなどを育てていきたいと考えている。そのような心を育てていくこと

により、自分らしく生きることにつながるのではないかと考えている。

◎婦人防火クラブの今後について

〔質問〕フクラブ減少した要因は何か伺う。

〔答弁〕〔危機管理課長〕年々高齢化が進んでいることや、仕事や子育てなどで会員数も少なくなり、常時活動できる役員の担い手が限られ、負担が大きくなっていることが減少している要因と考える。

〔質問〕今後どのような体制が望ましいと考えるか伺う。

〔答弁〕〔総務部長〕隣接する単位クラブとの統廃合や、地区内全クラブが一緒になって活動することで問題改善に取り組んでいる。今後は、地域の実情に合わせた婦人防火クラブにしていくことが望ましいと考える。